

2026年卒

4月1日時点の就職活動調査 <速報>

キャリタス就活 学生モニター2026 調査結果 (2025年4月発行)

2026年卒の採用広報解禁から1カ月。就職戦線はどのように進んでいるだろうか。キャリタス就活・学生モニターを対象に、4月1日現在の就職活動状況について調査を行った。内定状況など多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 4月1日時点の内定^(※)状況

- 内定率は64.9%。前年同期実績(62.8%)を2.1ポイント上回る
- 就職先を決めて活動を終了したのは全体の2割強(24.6%)。7割が就職活動継続(計70.5%)

2. エントリー状況、選考試験受験状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は21.8社。前年同期調査(22.6社)よりやや少ない
- ES提出社数は前年を下回る(平均10.8社→9.7社)。筆記試験と面接社数も減少

3. 本命企業(第1志望)の選考状況

- 「本命企業の選考はこれから」22.2%、「現在受けている」27.0%
- 本命企業の選考が終わったという回答が4割(計41.0%)で、前年よりさらに増加

※「内定」には、内々定を含む

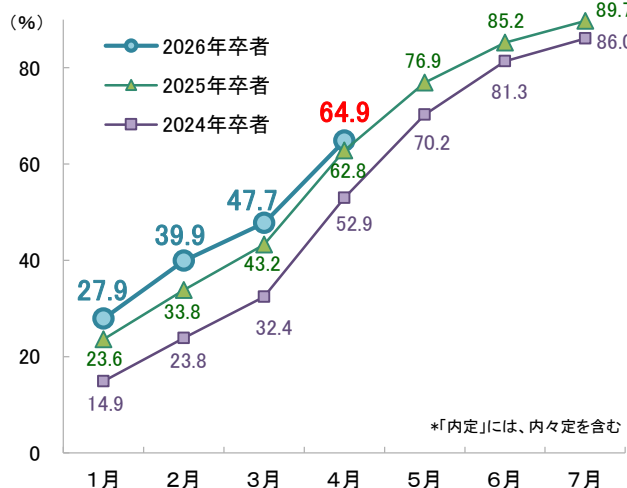
1. 4月1日時点の内定状況

4月1日の調査時点で内定を得ている学生は全体の64.9%。先月調査(3月1日)の47.7%から1カ月間で17.2ポイント増え、6割台半ばに達した。解禁後に就職戦線が加速した様子が読み取れる。前年同期(62.8%)に比べ2.1ポイント高く、前年にも増して早いペースで進行している。

内定を得た企業の7割近く(68.9%)がインターンシップ等のプログラムに参加していた企業だ。

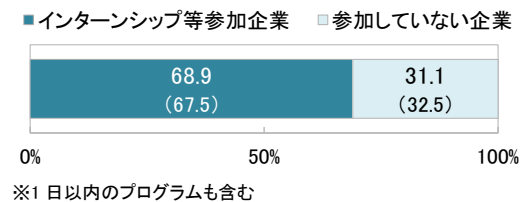
就職先を決めて活動を終了した者はモニター全体の24.6%。決定者の割合も前年(20.9%)より増えた。内定を持ちながら活動をする学生が全体の35.4%で、未内定学生35.1%とほぼ同数。

<内定率の推移>

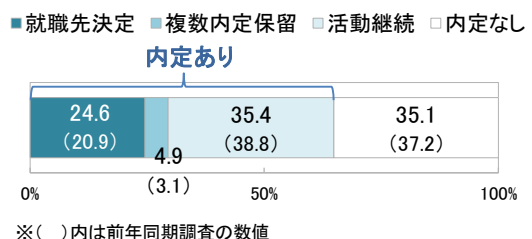


※各月1日時点

<内定を得た企業の内訳>

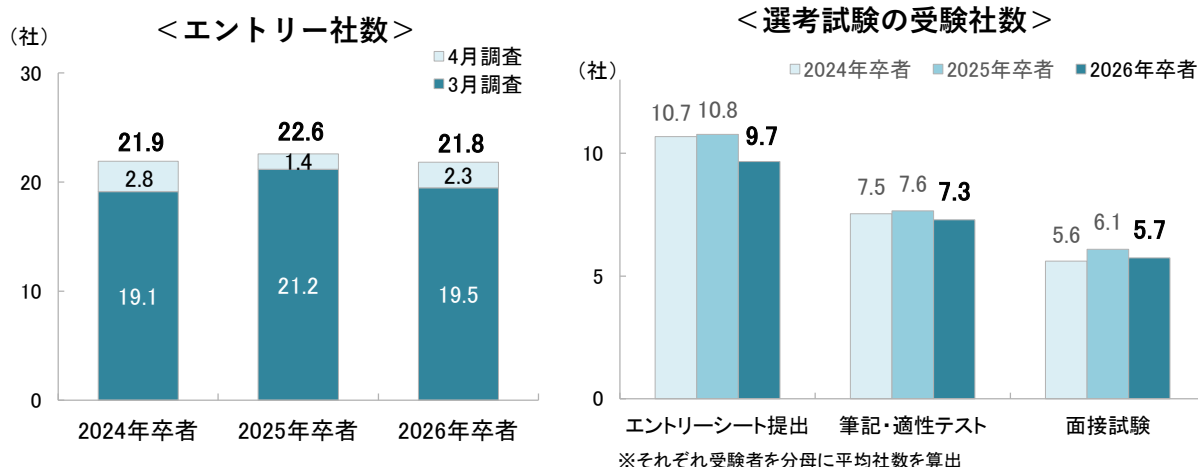


<活動状況の分布>



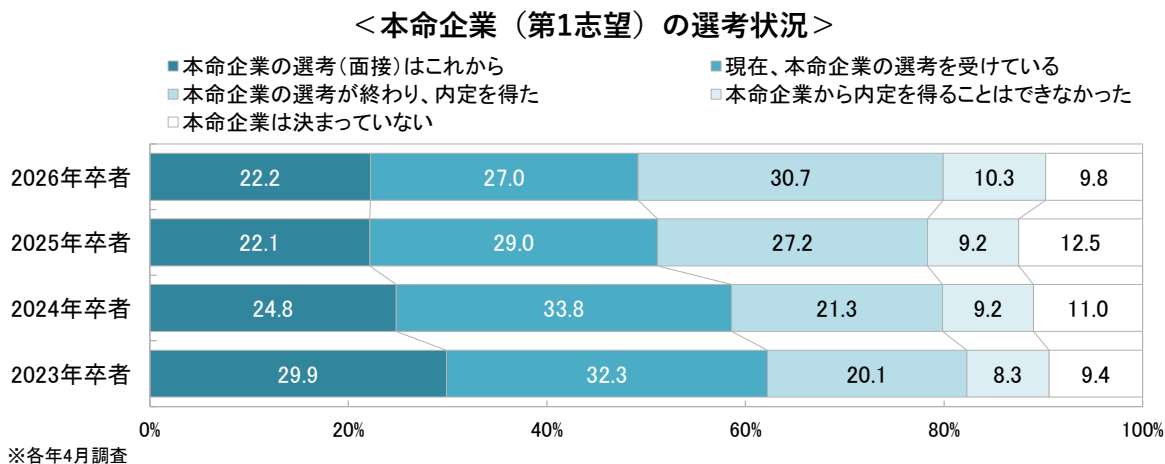
2. エントリー状況、選考試験受験状況

ここまでの活動量を見てみる。一人あたりのエントリー社数の平均は21.8社。この1カ月で2社あまり増えたが、3月調査に引き続き前年同期実績を下回った。エントリー社数の減少に伴って、ES提出社数や筆記試験、面接の受験社数も前年同期を下回った。



3. 本命企業（第1志望）の選考状況

これまでに最も入社したいと思った企業＝本命企業の選考（面接）が、どこまで進んでいるのかを尋ねた。応募前やESの結果待ちなどで「本命企業の選考（面接）はこれから」という回答は全体の約2割(22.2%)。「現在受けている」が3割弱(27.0%)。最も多いのは「選考が終わり、内定を得た」(30.7%)で、「内定を得ることはできなかった」(10.3%)を合わせて41.0%が、「本命企業の選考が終わった」と回答した。この比率は年々上昇しており、就職戦線の進行の早さが表れている。



調査概要

- 調査対象：2026年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
- 回答者数：1,134人（文系男子226人、文系女子486人、理系男子267人、理系女子155人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2025年4月1日～6日
- サンプリング：キャリアス就活 学生モニター2026
- 調査実施：株式会社キャリアス/キャリアスリサーチ